

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 2月号

1. 農機購入者安全研修会

J A 鳥取いなば鳥取地区農機センターは1月21日、農機購入者安全研修会を鳥取市のJ A本店で開いた。

研修会では、農機購入者やJ A職員ら約60人が参加。県内で発生した事故事例を踏まえ、トラクターやコンバインなどの安全作業の注意点を伝え、日常点検・安全確認の徹底が事故防止につながると説明した。



2. 美和小学校原木椎茸植菌体験

J A 鳥取いなばせんだい支店は1月22日、原木シイタケの植菌体験を鳥取市立美和小学校で開いた。

この体験は、食農教育の一環で、地域の農産物である原木シイタケ生産への興味を深めてもらうために実施している。植菌したホダ木は、同学校敷地内で管理し、原木シイタケの成長を観察して、今年の12月頃には収穫する予定。



3. 国府東小学校調理体験

J A 鳥取いなば国府支店は1月16日、鳥取市の国府東小学校で地元野菜を使った調理体験を開いた。

地域密着の支店独自の取り組み「支店行動計画」の一環で、同校「のびっこ児童クラブ」の児童を対象に、地元特産「山の芋」の栽培体験を行い、食農教育に取り組んだ。年間を通して、植え付け、支柱にツルを誘引するなどの管理作業、収穫のほか、同支店J Aまつりで試食販売も行った。調理体験では、山の芋2^キ。



を使いお好み焼きを作り焼き加減を確認し、児童がフライ返しで上手に返すと歓声と拍手が起こった。

4. わかばへ収益金寄付

J A鳥取いなば女性会鳥取支部は1月27日、昨年末に実施したチャリティー餅つきで得た餅販売の収益金5万6,812円を、鳥取市の同J Aグループ福祉専門会社、わかばに寄付した。

この取り組みは、J Aとっとり女性協議会が推進する地域貢献活動「米ひと握り運動」の一環で行っている。同支部は毎年、年末に青壮年部員らと協力して餅つきを行い、餅やぜんざいを販売し、収益金を福祉施設に寄贈している。

